



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2025(Ｒ7)年 9月 22日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No9 児童数324名

～自分で決めたことがやり切れるか（小さな自己決定で主体性を伸ばす）～

- ◆休み時間教室を見て回ると、あちこちでビデオに合わせて表現やダンスの練習をしている子どもたちがいます。仲間同士笑顔で、自主的に練習しているようです。練習が始まり、動きのコツも覚え始めています。
- ◆高学年の練習では、仲間同士、表現の仕方を見合ったり、感想を述べあったりしながら、どうしたらダイナミックで美しい表現になるのか、話し合っています。練習が終われば、今日感じたこと、仲間の素晴らしいところなど感想を振り返っています。まるで普段の授業のように、運動会の練習でも「気づき」や「学び」を大切に、自分の変容や成長に気づくようにしています。
- ◆今年の運動会では、子どもたちが「自分でめあてを立てる」「どのように取り組むか自分で決める」ことを特に大切にしています。非認知能力である「主体性」「自己肯定感」を向上させるためです。一生懸命仲間と練習するのも、静かに待つことも、精一杯仲間を応援することも、すべて、子どもがめあてを立て、どうするか決めて、やり遂げ、振り返ることができるよう指導しています。私たちもそのプロセスをずっと見ています。
- ◆縦割り班では、玉入れをします。どうすれば玉が多く入るか、どういう作戦ならば勝てるのか。子どもたちなりに話し合い、修正し合い、最後までやりきらせたいと思います。多少時間がかかり、うまくいかない場面があっても、どうやって乗り越えるか、どんなふうに自分たちの意思で戦い抜くのか、競技中に起こるシーンを、保護者の皆さんと一緒に見届けたいと思います。



1年生は初めての運動会。とっても張り切っています。

熱中症防止に向けて～安全・安心な運動会にするために～ 熱中症予防のため、今年から以下のような対策をとります。 ① 開会式、閉会式は、児童は児童席テント内で参加する。 ② 開会式、閉会式を簡略化し、時間短縮を図る。 ③ 10時30分頃を挟んで、20分間クーリングタイムをとり、全児童冷房の効いた教室へ入り休息をとらせる。 ④ 体調の変化を速やかに把握するため、児童席付近に職員を配置する。 ⑤ 水分補給は、活動前後など、適宜とるように指導する。 ⑥ 児童の健康観察を適宜行う。児童が体調不良を訴えやすい雰囲気をつくる。
--

～全国学力学習状況調査の結果と対応策について～

《国語》	上回っている	《算数》	同程度	《理科》	同程度
1 調査問題について、全国と比較すると上記の結果でした。（全国と比較し、5ポイント以上良ければ「上回っている」、全国と比較し5ポイント前後であれば「同程度」と判断されます。） 【豊岡小学校の傾向】 国語⇒話す、聞く、書くなどの思考力・判断力・表現力は概ね正答率が高い。一方、論理的思考力を問う問題や複数の資料や条件を関係づけて読むことが弱い。 算数⇒図形の作図の仕方、合同図形の性質などは正答率が高い。一方、問題とグラフや式、図を関連付けて考え、理由や根拠を明確に、表現することが苦手である。 理科⇒「エネルギー」「生命」を柱とする領域の正答率が高い。一方、身近な事象や言葉の理解が十分ではない。 【課題改善の具体策】 国語⇒「理由付け・根拠・考え」を常に明確にして理解や表現の手掛かりにさせる。 算数⇒式やグラフなどを使って考えの根拠を明確に筋道立てて表現したり、総合的な学習の時間等他教科でも情報をグラフで表現したりする活動を設ける。 理科⇒日常生活と関連付けた課題設定や、表現、振り返りを行う。 家庭学習⇒家庭学習の目標（時間、内容等）と学習環境を子どもと家庭で共有する。 全般⇒子どもが安心して学べる、仲間にたずねることができる授業づくりを行う。					
2 児童質問紙から ◎「自分には良いところがあると思う」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」「先生はあなたのよい所を認めてくれている」と思う児童は9割を超えている。 【今後に向けて】 ① 肯定的な関わりを基盤に、良好な関係の中で教育活動を進める。 ② 自己選択、自己決定する活動を設け、非認知能力の向上を図る。 ③ 学校と家庭で子どもの情報を共有し、対話を重ねながら一緒に育てていく。					